

海を照らす灯台のなかまたち (22)

水越島灯台で灯台のご案内は終了となりましたが、これまで紹介してきた灯台の他に、いくつかの灯台を通り過ぎてきたところがあります。

宇和島海上保安部の方から「灯台は半島の先端や島にあることが多く、お年寄りが現地まで行って写真を撮ったりしてくるのは、とても無理でしょう。」と言われていたように、今回の灯台巡りは、どこへも行くことができず、海上保安部からの情報や若宮さんにインターネットで調べてもらっての紹介でした。

「灯台のなかま」には、色々あることも教わることができました。

今回、「灯台のなかまたち」を紹介するにあたり、長浜から明浜までの24カ所をリストアップしていましたが、通り過ぎて紹介できなかったのが、伊予小島灯台（八幡浜市）、三瓶高島南防波堤灯台（三瓶町）、渡ヶ碇灯浮標（八幡浜市）の3カ所であり、おさらいしますと、航路標識（海の道しるべ）として、光波標識：灯台（20カ所）、灯標（1カ所）、灯浮標（1カ所）照射灯（2カ所）を紹介しました。

GPSシステムの運用で将来、灯台が不要になり消えていくのではないかという話を聞いたことがありましたが、海から灯台を見る

船舶にとっては目印として必要なものであり、岬を臨む陸の人々にとっても安らぎとロマンを与え、故郷の灯台、おらが町の灯台として親しまれ、地域の特徴を活かした形の灯台や、様々な色分けした灯台など、観光資源として登ることのできる灯台のように国の登録有形文化財に指定されるなど地域に密着し、無くてはならない存在となっています。

また、灯台好きな女性（灯台ガール）も全国的に増えています。

ちなみに「灯台日本一くらべ」の一部をあげてみます。

★「大八車」No.236（令和3年9月10日発行）掲載分

○最初の洋式灯台

観音埼灯台（神奈川県） 明治2年1月1日点灯



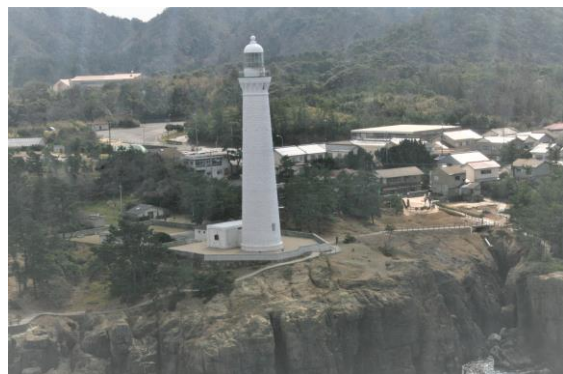
○最古の石造り灯台

檜野埼灯台（和歌山県） 明治3年6月10日点灯



○灯塔の高い灯台

出雲日御碕灯台（島根県） 地上から構造物の頂部まで 43.65m



○標高の高い灯台

茂津多岬灯台（北海道） 平均水面から灯火まで 282m



○光度の強い灯台・光達距離の長い灯台

室戸岬灯台（高知県） 光度：160 万カンデラ 光達距離：26.5 海里



○最北端の灯台

宗谷岬灯台（北海道） 北緯 45 度 31 分 17 秒 東経 141 度 56 分 11 秒



○最南端の灯台

沖ノ鳥島灯台（東京都） 北緯 20 度 25 分 26 秒 東経 136 度 04 分 39 秒

